

## 臨地実習指導者としての取り組みについての実践報告

荒木恵子 松井由美子  
新潟医療福祉大学 看護学科

【背景・目的】看護学生にとって臨地実習は、今まで学習した知識と技術を統合させ、専門職としての役割や態度を認識することができる、重要な教育の場である。私はA病院で看護師として学生の実習指導に携わっていた。多忙な業務に加えて実習指導を行うことは、負担に感じることもあり、学生が疎まれるような雰囲気があった。つまり、学生が安心して学習できる場を提供できていなかった。私は実習指導について指導を受ける機会がなく、常に戸惑いや不安を感じながら手探りで行っていた。その後、平成27年度看護職員臨地実習指導者養成講習会（以下講習会とする）を受講して、指導の知識、技術を習得した。私が臨地実習指導者（以下指導者とする）として行った取り組みについて実践報告する。

【方法】指導者として取り組んだことは10ある。結果にて、取り組みとその効果について述べる。

【結果】指導者としての取り組みとその効果を表1にまとめた。

表1 指導者としての取り組みと効果

	取り組み	効果
受講前の取り組み	①オリエンテーションマニュアル作成	指導者によってばらつきなく、学生が知りたいことを伝えられるようになった。マニュアルがあることで、指導者の負担が減少した。
	②学生が学びを記入し、看護師が助言を記入する実習指導連絡票の作成	日々異なる指導者が指導を行うため、どこに注意すれば良いのか理解しやすくなり、統一した実習指導につながった。指導者のコメントに励まされたという学生の言葉を聞き、意欲を引き出すことにもつながった。
	③実習指導を主に担当する学生係の選定	定期的に係会議を行い、より良い実習指導をしていこうという意識を持つことができた。
受講後の取り組み	④学生係で実習指導への思いや困難感についてファシリテーションを行う	お互いに共感し合い、意欲を引き出すことができた。
	⑤実習要項の学習目的、学習目標の読み合わせ。要項を見やすい所に設置	要項に沿った実習指導を行おうと意識することができた。
	⑥学習目的、学習目標に沿って病棟で学べることを話し合う	要項に沿った実習指導を行おうと意識することができた。
	⑦日案の作成	学生の学びをより促進する実習指導ができるようになった。
	⑧ポスターを掲示し、学生係以外にも協力を呼びかける。病棟マップの横に学生の受け持ち患者を表示する	病棟を巻き込むことで、指導者の負担が軽減した。また、学生もスタッフの一員なのだということを看護師、学生双方が感じられるようになった。
	⑨空いている部屋を学生室とした	学生が安心して学習できる環境作りができた。
	⑩伝達講習の実施	指導者の役割や今時の学生の傾向を伝えたことで、学生への理解が深まった。

【考察】上原ら<sup>1)</sup>によると、講習会受講後の実習指導に対する考えや行動の変化は、「実習指導への理解の深まり」「学生理解」「自己の成長」「協力体制」「指導者間の連携」「勉強会の実施」があると述べている。私の取り組みと合わせて考察していく。

受講前は、指導者の負担を軽減しようと①・②の取り組みを行った。講習会で学生は仲間であると学び、私達は未来の看護師を育てているのだ、という前向きな気持ちで指導を行うことができるようになった。「実習指導への理解の深まり」があったことで、指導者としての役割意識が変化し、④・⑤・⑥・⑦の取り組みにつながったと考える。

次に、講習会で「学生理解」をしたことで、⑨の取り組みにつながったと考える。また、学生の自己効力感を高めるために、意識的に褒めるようになった。

講習会にて指導案を作成し、三観を考えたことで、自らの看護観を深く見つめ直す機会となった。加えて、質の高い看護教育を行うことは、より多くの患者に質の高い看護を提供することにつながるため、重要な使命であるという、新たな看護観を形成することができた。これらは「自己の成長」であると考えられる。

受講前は③の取り組みをし、他の看護師の協力を得ようとした。講習会で実習指導に対する負担軽減のために「協力体制」を整えることの重要性を学び、⑧の取り組みにつながったと考える。病棟の体制を整えることで、学生を迎え入れる雰囲気作りにつながったと考える。

講習会で実習指導に困難を感じているのは自分だけではないと知ることができ、院内の臨地実習指導者委員会で積極的に「指導者間の連携」をして、院内の臨地実習をより良いものにしよう意識することができた。

また、講習会で指導法を学び、より良い臨地実習にしたいと考えても、周りの看護師の協力がなくてはそれを実現することはできない。受講生とそれ以外の人では実習指導に取り組む姿勢は異なり、その温度差が病棟の雰囲気となって表れると考えた。今後の課題として、病棟全体で効果的な実習指導を行っていくための方法を考えていきたい。

【結論】講習会で知識、技術を習得することで、実習指導に積極的に取り組むようになる。また、根拠をもつことで、より効果的な実習指導を行うことができる。

### 【文献】

- 1) 上原充世, 有村京子: 実習指導者講習会受講後の受講生の動静および実習指導に対する変化. 日本看護学会論文集 看護教育, 47, 135-138, 2017.